

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー									
DP1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている									
DP2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。									
DP3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。									
分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力						
			DP1	DP2	DP3				
<全学共通基盤科目>	●	協創力体験演習Ⅰ	◎	◎				多様な人々の言葉に耳を傾け、自分の考えを伝えながら交流することによって協創力を身に着けることを目的としている。	
<全学共通基盤科目>	●	協創力体験演習Ⅱ	◎	◎				多様な人々の言葉に耳を傾け、自分の考えを伝えながら交流することによって協創力を身に着けることを目的としている。	
<全学共通基盤科目>	●	協創力実践演習	◎	◎				多様な人々の言葉に耳を傾け、自分の考えを伝えながら交流することによって協創力を身に着けることを目的としている。	
<基本科目>	●	フレッシュマンセミナー(薬学) A	◎	◎	○	PHP101JY	000460	学内および社会的なルールを理解し、遵守する姿勢を養うこと、総合的な学習スキルそしてコミュニケーションスキルの修得を目的とする。	B+C or D併用
<基本科目>	●	フレッシュマンセミナー(薬学) B	◎	○	○	PHP101JY	000470	大学での学びの動機づけと将来の自身の活躍の場をイメージできるようになることを目的としている。	B+C or D併用
<基本科目>	●	コミュニケーションのための基礎英語A	△	○		LES000JY	000590	・コミュニケーションに必要な基礎的英語力を定着させる ・英語の総合的な技能と知識を向上させる ・特に英語でのアウトプットに関する技能を向上させる	A + C or D併用
<基本科目>	●	コミュニケーションのための基礎英語B	△	○		LES000JY	000600	・コミュニケーションに必要な基礎的英語力を定着させる ・英語の総合的な技能と知識を向上させる ・特に英語でのアウトプットに関する技能を向上させる	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	統合科学演習A			◎	PHP101JY	031100	薬剤師教育の基盤となる化学の基礎的知識を習熟すると共に、演習形式の授業を通じて、基礎薬学分野の科目（生物学A、解剖学、物理化学A、無機化学、基礎有機化学）で学習する専門的知識と基礎知識の関連性を掴む能力を養うことを目的とします。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	生物学 A			◎	PHP131JY	031120	多細胞生物の成り立ちと機能を細胞レベルで理解するために、生体成分、細胞と組織構築、代謝等に関する基本的知識を修得する。講義を通して動物、細胞、生命科学に対して興味をもつ。上記を目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	生物学 B			◎	PHP131JY	031130	生命現象の基本的な仕組みを理解するために、遺伝情報を司る遺伝情報物質の構造と機能、細胞の増殖や分化の制御に関する基本的知識を修得する。さらには、生物の遺伝情報の変化とその影響について修得する。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	物理化学 A			◎	PHP112JY	031140	物理化学では、化学物質の化学的変化や物質間の相互作用を物理的側面から評価・解析する。特に物質の熱的性質と平衡状態や状態の自発的变化が生じるか否かなどを取り扱う「熱力学」を学ぶ。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	生理学 A	△		◎	PHP233JY	031150	本講義では全ての薬学的知識の基礎となるよう「正常な身体の生理機能」について理解を深めることを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	物理化学B			◎	PHP112JY	031240	電磁波の種類により物質との相互作用の仕方が異なることや、電磁波の分析方法への利用について学ぶ。また、酸塩基や酸化還元平衡などの各種化学平衡について学び、溶液中での物質のふるまいを知ること。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	有機化学 A			◎	PHP222JY	031280	薬の専門家として必要な基礎知識を身に付けることを目的とし、アルカンやシクロアルカンの性質や立体化学構造を学び、キラリティーや光学活性などの立体化学の知識を修得する。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	無機化学	△		◎	PHP121JY	031970	原子の構造やその電子軌道の形状を、量子化学を通して理解し、ルイス構造、VSEPRモデル、混成軌道、分子軌道（MO）理論に基づいた化学結合、分子構造を学び、元素の周期性および各元素の基本的な性質を理解するとともに、生体内での化学反応や有機化学反応にも関連する無機化学の基礎知識を深め、さらには上市されている無機医薬品について学ぶことを目的としている。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	基礎有機化学	△		◎	PHP122JY	031980	代表的な有機化合物の官能基、構造、命名法を学ぶ。また、有機化合物の基本的な化学的性質と有機反応のメカニズムを学ぶ。ここで修得した知識は有機化学を理解する上で最も大切な基礎事項となる。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬学実習 A	○	○	◎	PHP191JY	032070	薬の専門家として必要な知識、技能および態度を身に付けることを目標とする。本実習は化学系実習と生物系実習の二つから構成され、化合物の基本的な性質や特性を理解し、生物系実習では、生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解することを目的としている。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬学実習 B	○	○	◎	PHP191JY	031200	物理化学および微生物学的手法ならびに分析結果の適切な取り扱い方法について修得することを目的としている。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	微生物学			◎	PHP231JY	035610	微生物の分類、構造、生活史などに関する基本的特性を理解することで、他の生物との相違点を明確化する。また、それらの知識をもとに、感染症の成立とそれに関連する因子、感染症の現状、並びに感染症の治療と防止対策についての基本的概念を理解することを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	薬学概論	◎	○	◎	PHP101JY	037010	医療人を目指す薬学生として、薬学の歴史と領域、薬剤師業務と医療制度、生命および医療倫理、薬剤師として必要な基本的スキルを知り、薬学の学問分野と薬剤師の職能との関連性について理解することを目的とする。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	細胞生理学			◎	PHP233JY	037110	薬理学の基礎として、薬が細胞内でどのように作用を発揮するかを学ぶことを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	解剖学	△		◎	MEW231JY	038600	全ての薬学的知識の基礎となるよう「正常な身体の構造」について理解を深めることを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	生化学 A	△		◎	PHP232JY	031170	細胞を構成する物質の構造、性質を学ぶとともに、細胞内の物質やエネルギーの変化を意味する代謝を理解することを目的とする。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	生化学 B	△		◎	PHP232JY	031180	細胞内の恒常性が如何に保たれているか理解することを目的とする。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	基礎薬理学	△		◎	PHP251JY	031210	薬物の生体内における作用に関する基本的事項を理解し、さらに末梢神経（自律神経、体性神経）とその効果器に作用する医薬品の薬理に関する基本的知識を修得することを目的としている。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	分析化学 A			◎	PHP213JY	031220	日本薬局方に収載されている医薬品をはじめ、様々な物質の分析法を修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	分析化学 B			◎	PHP213JY	031230	化学物質をその性質に基づいて定性・定量分析する上で必要な様々な機器分析法（赤外吸収スペクトル測定法、核磁気共鳴スペクトル測定法、X線分析法、旋光度測定法、分離分析法、電気泳動法、質量分析法）について修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	物理薬剤学 A	△		◎	PHP212JY	031250	医療人・薬剤師を目指す上で必須な医薬品製剤の特性や生体内における薬物の利用に関する専門的知識の基礎を修得することを目的とする。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	物理薬剤学 B	△		◎	PHP212JY	031260	物理薬剤学Aに引き続き製剤化の意義と方法を理解することを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	免疫学			◎	PHP233JY	031270	①ヒトの主な生体防御反応について、その機構を、組織・細胞・分子レベルで理解するために、免疫系に関する基本的知識を習得すること、②免疫反応に基づく生体の異常を理解するために、代表的な免疫関連疾患についての基本的知識を習得すること、③免疫反応の（臨床）応用に関する基本的知識を身につけることを目的とする。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	有機化学 B			◎	PHP222JY	031290	有機化学Aで学んだ知識を発展させ、アルケン及びアルキンの付加反応、芳香族化合物の求電子置換反応を中心に、それらの反応機構及び反応に影響を与える要因について学ぶ。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	生理学 B			◎	PHP233JY	031300	血液系、呼吸器系、感覚器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系の生理的機能と生体の維持に関わる調節機構、血糖、体液、体温の調節機構に関する基本的事項を修得することを目的としている。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬理学 A			◎	PHP251JY	031310	中枢神経系や免疫系に作用する薬の効くプロセスについて、生体の機能と薬効がどのように関係しているか、また、副作用についても、薬効との関連を修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習 A	△	○	◎	PHP292JY	031320	モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要なとされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とする。	A + C or D併用

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー									
DP 1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている									
DP 2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。									
DP 3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。									
分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力						
			DP1	DP2	DP 3				
<専門科目> 必修	●	有機化学C			◎	PHP222JY	031400	官能基が有機化合物に与える効果を理解することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬学実習C	△	○	◎	PHP291JY	032080	本実習は、生化学・分子生物学系とキャリア形成等で構成され、生化学・分子生物学系では、生命のプログラムである遺伝子と生命活動を担うタンパク質である酵素や抗体に関する基本的知識や実験技能の習得を目的とし、キャリア形成系では、薬剤師に求められる情報収集能力とコミュニケーション能力の向上、多職種に関して学びを通じてチーム医療の知識習得を目的とする。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬学実習D	△	○	◎	PHP291JY	031340	本実習は、分析化学、製剤学について実習と演習により学びます。各内容について、座学で得た知識を定着させるとともに、関連する技能態度を身につける。分析化学系として、機器分析法、臨床分析法について、基礎的事項を習得し、製剤系として、医薬品の安定性、化学平衡、および粉体粒子の性質を得るための基礎的な技能を習得することを目的とする。	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 必修	●	病態学A	○		◎	PHP252JY	032020	薬学生が理解すべき重要な疾患について、生物学・解剖学・生理学・生化学・衛生学の知識を活用・復習し、薬理学とも関連させながら、各疾患の背景、概念、発症機序、症状、所見、患者症状、臨床検査値を理解および説明できる。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	基礎栄養学	△		◎	PHP243JY	035320	講義形式により、栄養素および食物成分の消化、吸収、代謝、生理的役割に関する基礎的な知識を修得することを目的とする。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬学英语入門		○	◎	PHP302JY	037280	基本的な英文の読解を通し、自然科学分野などの基本的な英文（基本用語を含む）を読解できるようになること、実践英会話を通し、薬剤師が薬局などで遭遇する患者とのやりとりについて基本的で実践的な英会話を学ぶこと、を目的とする。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	病原微生物学			◎	PHP252JY	037450	薬学生として学んでおかなければならない病原体と、それによって引き起こされる感染症の成り立ちを各論的に理解すると共に、日本における感染症の予防とまん延防止対策の仕組みを理解することを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	生薬学			◎	PHP223JY	037840	代表的な生薬の基原、特色、臨床応用および天然生物活性物質の単離、構造、作用などに基本的知識を修得することを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	生物有機化学演習			◎	PHP322JY	031370	有機化学の観点から、生体構成分子の構造や化学的な性質、生体分子機能や医薬品作用の化学的理解、阻害薬や酵素の反応機構、生体分子の代謝反応等について学び、薬の専門家として必要な基礎知識を身に付けることを目的とする	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	生化学C			◎	PHP232JY	031380	遺伝子と医療に関する基本的な知識を修得すること、分析データから情報を読み取る力を養うことを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<専門科目> 必修	●	薬理学B			◎	PHP251JY	031430	循環器系、血液泌尿器系、消化器系などに作用する薬の効くプロセス（薬理）について、生体の機能と薬効がどのように関係しているか、また副作用についても薬効との関係を理解、修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬理学C			◎	PHP251JY	031440	抗生物質、抗悪性腫瘍薬、抗リウマチ治療薬、代謝・内分泌疾患治療薬や診断薬等の薬の効くプロセスについて、生体の機能と薬効および薬物の構造と薬効がどのように関係しているか、また副作用についても薬効との関連性を理解し、修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習B	△	○	◎	PHP292JY	031470	モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要なとされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とする。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬学実習E	△	○	◎	PHP391JY	031480	本実習は有機化学系と薬理学系で構成される。 有機化学系では、有機化合物の物性、反応性、分離精製法、確認方法、安全な取扱い方法を修得し、薬理学系では、薬理学実験に必要な基本的な技術・態度を修得することを目的とする。 本実習は衛生系と薬剤系の実習で構成されており、実験の内容に関連する講義科目と結びつけて理解したうえで、実験の方法と技術を習得する。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬学実習F	△	○	◎	PHP391JY	031490	衛生系は、毒性学A、B、公衆衛生学A、Bに関連する実験方法を扱う科目で、これらの一部について、その方法と手技を学び、薬剤系では、薬物の生体内運命を薬物動態から定量的に理解できるようになるために、理論的解析に関する基本的技能を修得することを目的とする。また、実習全体を通して、薬剤師として必要になるチームワーク、グループワークについて学ぶ。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬物治療学A	○		◎	PHP355JY	031390	医療機関や地域における医療チームに積極的に参画するために必要な適切な薬物治療の知識を得ることで、医療人・薬剤師を目指す上で必須な専門的知識の基礎を修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬物治療学B	○		◎	PHP355JY	031530	医療機関や地域における医療チームに積極的に参画するために必要な適切な薬物治療の知識を得ることで、医療人・薬剤師を目指す上で必須な専門的知識の基礎を修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	生物統計学演習	△		◎	PHP204JY	031660	薬剤師に必要なとされる代表的統計解析法を実行できる技能を身につけることと、臨床研究デザインに関する知識を身につける。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	公衆衛生学A			◎	PHP342JY	031670	我々を取り囲む環境について学び、健康の維持増進に寄与するための基礎を修得することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	医薬品化学			◎	PHP322JY	031990	医薬品化学では代表的な医薬品に焦点を当て、有機化学及び薬理学で学んだ知識を統合し、化学構造と薬理作用の関係を総合的に理解できるようになることを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	病態学B	○		◎	PHP252JY	032030	薬学生が理解すべき重要な疾患について、生物学・解剖学・生理学・生化学・衛生学の知識を活用・復習し、薬理学とも関連させながら、各疾患の背景、概念、発症機序、症状、所見、患者症状、臨床検査値を理解および説明できる。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	病態学C	○		◎	PHP252JY	032040	薬学生が理解すべき重要な疾患について、生物学・解剖学・生理学・生化学・衛生学の知識を活用・復習し、薬理学とも関連させながら、各疾患の背景、概念、発症機序、症状、所見、患者症状、臨床検査値を理解および説明できる。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	毒性学A			◎	PHP341JY	035760	異物（薬物・毒物・化学物質）の体内での化学的変換とその過程に関わる酵素、異物代謝と生体影響の関係について修得する。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	毒性学B	○		◎	PHP344JY	035770	生体異物（医薬品、化学物質）、放射線による人体への有害作用のメカニズムと毒性評価法を理解し、レギュレーションの方法や中毒の防止と治療に役立つ知識を修得する。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	実用薬学英语	△	○	◎	PHP202JY	037630	薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学会会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるため、科学英語の基本知識と技能を修得する。	A + C or D併用
<専門科目> 必修	●	社会と薬学	△	△	◎	PHP371JY	037830	社会と薬学は、社会保障制度のもとで提供される医療と福祉について、現状を修得する科目である。社会保障制度を学び、実務において適用できることを目的としている。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	調剤処方学	△	△	◎	PHP381JY	037880	薬剤師の担う業務の範囲と責任を認識し、基本的事項を理解するのに必要な知識を修得する。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬物動態学			◎	PHP361JY	037890	「生物薬剤学」で習得した薬物の吸収、分布、代謝、排泄の過程を速度論的に理解し、薬剤師業務への薬物動態学の関わりを考えられるようになることを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	生物薬剤学			◎	PHP361JY	037910	ADMEの各過程とその機構について理解することを目標とし、ADMEの過程に影響する因子や相互作用に関する基礎知識を習得することを目的としている。	A+B併用

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力						
			DP1	DP2	DP3				
<専門科目> 必修	●	漢方薬			◎	PHP353JY	038220	現代医療で使用される生薬・漢方薬について、基本用語や漢方医学の考え方、診断法、漢方薬における生薬のはたらき、代表的な漢方処方等の適用などについて学ぶことを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	コミュニケーション体験演習	○	◎	○	PHP103JY	031550	城西大学が関わる集団や地域をコミュニティとして捉え、そこで実践されるプロジェクト基盤型の活動等に参画することにより実践的なコミュニケーション能力を培うとともに、実務実習や社会で必要とされる能力を伸ばすことを目的としている。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習C	○	△	◎	PHP392JY	031560	本科目は、薬局・病院実習において必要となる基本的な資質および薬学的課題を解釈・解決するための資質を修得するために、1年から4年春学期までに学習した各科目領域を復習し、総合的に関連づけた知識・態度・技能を、実務実習において役立てようになることを目的としている。	A+C or D併用
<専門科目> 必修	●	公衆衛生学B	○		◎	PHP342JY	031570	公衆衛生の向上に貢献するために、社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因把握し、感染症・生活習慣病・職業病の予防に関する基本的知識、②食品の安全性の確保に関する基本的知識を修得することを目的とする。	A+C or D併用
<専門科目> 必修	●	薬物治療学C			◎	PHP355JY	031610	本科目は臨床現場において、病態を理解した上で個々の患者に応じた医薬品の選択、用法・用量の設定、適正な薬物治療に主体的かつ協働的に貢献できるようになるため、循環器系疾患、消化器系疾患、免疫・アレルギー疾患、感覚器・皮膚疾患、感染症、呼吸器系疾患、泌尿器系疾患、代謝系疾患、悪性腫瘍（がん）、神経系疾患の病態およびそれらの治療に用いられる医薬品の適正使用に関する専門的な知識を修得することを目的としています。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	製剤学			◎	PHP362JY	032010	医薬品の成分、法的位置付け、物性、使用目的等により、管理面での注意点も大きく異なる点を具体例を通して理解することを目的としている。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	臨床前実習A	○	○	◎	PHP392JY	032110	5年次の実務実習の基本（知識、技能）を学ぶための科目です。薬剤師業務について学び、実務において適用できることを目的としている。	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 必修	●	臨床前実習B	○	○	◎	PHP382JY	032120	5年次の実務実習の基本（知識、技能）を学ぶための科目です。薬剤師業務について学び、実務において適用できることを目的としている。	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 必修	●	医薬品情報学			◎	PHP363JY	036080	医薬品情報について、企業の研究開発にかかわる情報の収集、医療機関関係者への伝達と利用、評価、情報の再収集・再利用など情報リテラシーについて修得することを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	コミュニティファーマシー論	○		◎	PHP383JY	037590	薬剤師に必要な制度・教養を身につける科目です。薬局薬剤師の業務について学び、実務において適用できることを目的としている。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬剤師関係法制度概論	○		◎	PHP372JY	037600	医療および薬事に関する法令、及びその制度の精神と施行に関する基本的知識を修得し、加えて、それらを守る態度を身につけること、さらには医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、さらには薬学を基盤とした研宄力を有し、人々の健康増進に貢献する能力をも身に付けることを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	薬物治療演習	△		◎	PHP355JY	037970	本科目は、臨床現場において、その病態を理解した上で個々の患者に応じた医薬品の選択、用法・用量の設定、適正な薬物治療に主体的かつ協働的に貢献できるようになるための科目で、演習から循環器系疾患、消化器系疾患、免疫・アレルギー疾患、感覚器・皮膚疾患、感染症、呼吸器系疾患、泌尿器系疾患、代謝系疾患、悪性腫瘍（がん）、神経系疾患の病態およびそれらの治療に用いられる医薬品の適正使用に関する専門的な知識を修得し、実践へと繋げられるようにすることを目的としている。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	調剤処方演習	△	○	◎	PHP381JY	037990	患者の状態および医薬品の特徴に応じた処方せん監査および医師との協議のための実践力を身につけることを目標とする。	A+C or D併用
<専門科目> 必修	●	医療栄養学	○		◎	PHP356JY	038030	医療栄養学の基礎を修得したうえで、栄養食事療法の種類と特徴、栄養食事療法施行時の注意点、薬物療法と栄養食事療法の相互作用に関する知識を修得する。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	医薬品開発・治験論			◎	PHP465JY	038330	医薬品開発段階から市場で使われる一連のプロセスを理解することを目的とする。	A+C or D併用
<専門科目> 必修	●	卒業研究	○	○	◎	PHP505JY	038300	薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究課題を通して新しいことを発見し、倫理性に配慮しつつ科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養うことを目的としている。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	臨床後演習	○	○	◎	PHP492JY	032130	臨床での実務と基礎科目の関係を学び、自身の学修を構成することを目的としている。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	病院実習	○	○	◎	PHP482JY	038280	病院での実習により、臨床の薬物治療について学び、実務において実施できることを目的としている。	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 必修	●	薬局実習	○	○	◎	PHP482JY	038290	薬局での実習により、臨床の薬物治療について学び、実務において実施できることを目的としている。	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習D	△	△	◎	PHP492JY	031640	1年次から5年次までに学んだ内容を復習し、総合的に関連づけることにより、薬剤師に必要な課題・問題対応能力を身につける。	A 記述・客観試験
<専門科目> 必修	●	統合演習	△	△	◎	PHP482JY	031950	実務実習（知識・技能）終了後、改めて基礎薬学分野の知識を基盤として臨床現場で必要となる医療薬学、衛生薬学、薬学臨床分野の内容を統合的に理解することを目的とする。	B+C or D併用
<専門科目> 必修	●	社会保障制度と薬学経済	△	△	◎	PHP471JY	032050	社会保障制度と薬剤経済の基本的知識と技能を修得すること、医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力を身に付けることを目的とする。	A+B併用
<専門科目> 必修	●	臨床実習前講義A	○	○	◎	PHP392JY	032230	患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床で活躍するために必要となる、医療人としての専門的な知識・思考力・判断力・表現力を習得し、実務において実施できるようになることを目的としている。	A+C or D併用
<専門科目> 必修	●	臨床実習前講義B	○	○	◎	PHP382JY	032240	この科目は、5年次の実務実習の基礎知識を学ぶための科目で、薬剤師業務について学び、実務において適用できることを目的としている。	B レポート試験
<専門科目> 選択必修	●	地域医療論		△	◎	PHP483JY	032200	薬剤師国家試験レベルを超える先端的な薬学教育を提供することを目的とし、地域医療の実務者から地域包括ケアシステム、在宅医療、訪問看護等について学ぶ。	A+C or D併用
<専門科目> 選択必修	●	医療薬学論	△		◎	PHP484JY	032210	薬剤師国家試験レベルを超える先端的な薬学教育を提供することを目的とし、再生医療、最先端治療、治療薬等、医療薬学について最先端の知見を学ぶ。	A+C or D併用
<専門科目> 選択必修	●	法医薬学実務論	△		◎	PHY445JY	032220	薬剤師国家試験レベルを超える先端的な薬学教育を提供することを目的とし、法化学分野、薬毒物、薬の適正使用等、法医薬学に関することを実務経験者から学ぶ。	A+C or D併用
<専門科目> 選択必修	●	栄養・薬学マネジメント論	△	△	◎	PHP357JY	031940	地域保健活動において、栄養を起点とした多職種連携における薬剤師の役割を発展させるために、公衆栄養マネジメントの概念と具体的手法を学ぶとともに、機能性食品の活用、薬物治療における注意点を理解する。	A+C or D併用
<専門科目> 選択		統合科学演習B		○		PHP192JY	031190	演習形式の授業を通じて、基礎薬学分野の科目（細胞生理学、生理学A、生物学A、微生物学、物理化学B、有機化学A）で学習する専門的知識と基礎知識の関連性を図む能力を養うことを目的とします。	B+C or D併用
<専門科目> 選択		医療における栄養			○	NUT261JY	031160	新時代の薬剤師が身に着けておくべき、また、現代薬学の学習に必要な医療栄養学の基本となる知識を修得し、栄養や機能性食品の栄養を持った薬剤師の養成の一助となることを目的としている。	A+C or D併用
<専門科目> 選択		天然物化学			○	PHP323JY	031540	医薬品資源としての天然生物活性物質を構造によって分類・整理し、性状、生成、薬効、用途に関する基本的知識を修得し、自然が作り出す有機化合物に興味を持つ。	A+B併用
<専門科目> 選択		公衆衛生学C			○	PHP342JY	031620	公衆衛生学A、Bのアドバンストコースとして、保健衛生、食の安全性、放射線の医療への応用について詳しい知識を習得する。	A 記述・客観試験
<専門科目> 選択		医療における食品学			○	PHS351JY	031920	様々な食材についての情報を統合的に活用し、薬剤師として食事療法、栄養治療に積極的にアプローチが可能になるように知識、理解の向上を目指す。	A+C or D併用
<専門科目> 選択		食品調理加工学実習			○	NUT391JY	031930	調理、食品加工の実習を通じ、薬剤師に必要な栄養、食品の知識を定着させるとともに、栄養や食情報に通じた薬剤師としての対応力を身につけることを目的とする。	B+C or D併用

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー				
DP 1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている				
DP 2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。				
DP 3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。				

分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力						
			DP1	DP2	DP 3				
<専門科目> 選択		ライフステージ栄養学	○		◎	PHS341JY	035330	栄養学の基礎を習得した上で、成長、発達、加齢（老化）など、一生におけるライフステージごとの健康生活と栄養管理に関する知識を修得する。	B レポート試験
<専門科目> 選択		食品機能学			○	PHS351JY	035390	健康食品の概念、医薬品との相違、日本で保健機能食品としての食品群について、法規上の位置付け、有効性の機序、安全性の確保についての基礎を身につけることを目的とする。	A + C or D併用

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力						
			DP1	DP2	DP3				
<専門科目> 選択		ハーブ論			○	PHP365JY	035710	日本でメディカルハーブとして汎用される薬用植物の特徴、使用法、安全性等の各論および具体的な使用例や科学的根拠について理解することを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 選択		総合生物	△		○	PHP131JY	037550	生物学AおよびB、細胞生理学、解剖学、生理学A、微生物学で学習した生物機能の総合的な理解のために、細胞そして個体レベルでの生命の成り立ちについて理解を深めることを目的とする。	B+C or D併用
<専門科目> 選択		選択実験	○		○	PHP305JY	037580	各研究室・講座から提示された約10種の実験テーマの中から、興味あるテーマを選択して実験を行い、その分野への興味をさらに深めると共に、実験を通して実験技法や現象を体感し、以下の素養を身に着ける。 1. 各分野への知識・理解 2. 態度・志向性：「実験遂行のための(1)自己管理能力、(2)研究」倫理観 3. 汎用的技能「実験手技や実験結果に対する(3)論理的思考力、(4)課題発見能力および(5)問題解決	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 選択		臨床心理学	△		○	MEW341JY	037930	何らかの課題や困難を抱えた人の心理的問題の基礎知識を学び、人間理解を深めていくことを目標とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 選択		医療栄養学演習	○		◎	PHP456JY	037980	栄養学についても高度な実践的素養を持つかかりつけ薬剤師として、医薬品・食品相互作用の知識も含め、患者及び在宅医療を含めて地域の住人の健康維持に貢献できるようになることを目標とする。	B レポート試験
<専門科目> 選択		放射化学実習			○	PHP212JY	038150	医療における放射線の利用法に関する基礎的な技能を習得する。	B+C or D併用
<専門科目> 選択		医薬品・食品・化粧品マーケティング論	○		○	PHS473JY	038210	自分の仕事に関するQOLを出発点として、健康に関わる仕事の設計と運用を学ぶ。	B レポート試験
<専門科目> 選択		臨床検査学			○	PHP352JY	038380	授業の目的 ①検査の目的、内容、検査でわかること、数値の見方を他者にわかりやすく説明できることを目標とする。 ②検査結果の意味を読み解き将来の病気の徴候を見つたすことを目的にする。 ③検査値を読み解くことで病気を未然に防ぎ身体の自己管理ができるようになることを目的とする。	A 記述・客観試験
<専門科目> 選択		有機化学演習			○	PHP222JY	038520	今まで学んできた有機化学A、B、Cの重要なポイントを復習し、知識を整理することを目的とします。	A 記述・客観試験
<専門科目> 選択		物理化学演習			○	PHP212JY	038630	物理化学の内容を復習し、問題に対応する能力を身につけます。	C その他（ルーブリック使用）
<専門科目> 選択		緩和医療学	◎	○	◎	PHP454JY	038640	緩和ケアに関わる薬剤師としての確なアセスメントを実施し、有効性と安全性の両側面から治療に貢献できる能力を身につける。	A + C or D併用
<専門科目> 選択		コミュニティファーマシーインターンシップ	△	○	○	PHP309JY	038770	ドラッグストアでインターンシップ（就業体験）を行い、地域におけるドラッグストアおよびそこで働く薬剤師の役割について現状を理解し、住民の健康の維持・向上を支援するための薬剤師の将来像について自ら考え、発信できるようになることを目的とする。	B + C or D併用
<専門科目> 選択		薬毒物分析			○	PHP345JY	032000	中毒患者の救命を目的とする。	B レポート試験
<専門科目> 選択		看護・介護・社会福祉演習	○		○	MEW311JY	032060	〈目的〉 1. 生命にかかわる職人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができる。 2. 共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。 3. 高齢社会における医療者として求められるであろう、高齢者医療・福祉の問題や動向、看護・介護の考え方を理解する。	A 記述・客観試験
<専門科目> 選択		海外薬学英语研修A	△	○	△	PHP302JY	038690	海外研修に参加し、異文化を体験することで広い視野を身につけたり、自分の適性や新しい可能性を発見することを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<専門科目> 選択		海外薬学英语研修B	△	○	△	PHS302JY	038700	海外研修に参加し、異文化を体験することで広い視野を身につけたり、自分の適性や新しい可能性を発見することを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<専門科目> 選択		海外薬学英语研修C	△	○	△	PHS302JY	038730	海外研修に参加し、異文化を体験することで広い視野を身につけたり、自分の適性や新しい可能性を発見することを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<関連科目>		情報科学(演習含む)	△		△		001170	情報科学の意味を理解し、Word, Excel, Powerpointなどの基本的なソフトウェアを使うことが出来る。	A + D併用
<関連科目>		ドイツ語ⅠA	△	△			001210	語彙と文法を確実に身につけ、ドイツ語入門レベルのマスターをめざし、自己紹介や身の回りの事について、ドイツ語で表現できるようになる。	A + D併用
<関連科目>		ドイツ語ⅠB	△	△			001220	語彙と文法を確実に身につけ、ドイツ語入門レベルのマスターをめざし、自己紹介や身の回りの事についてドイツ語で表現できるようになる。	A + D併用
<関連科目>		ドイツ語ⅡA	△	△			001230	バランスの取れた中級ドイツ語力を身につける。	A + D併用
<関連科目>		ドイツ語ⅡB	△	△			001240	バランスの取れた中級ドイツ語力を身につける。	A + D併用
<関連科目>		フランス語ⅠA	△	△			001290	フランス語の入門の文法を学び、最初歩の運用能力を身につけることを目的とする。	A + D併用
<関連科目>		フランス語ⅠB	△	△			001300	フランス語の初級文法を理解し、基礎的な運用能力を身につけることを目的とする。	A + D併用
<関連科目>		フランス語ⅡA	△	△			001310	フランス語の初級文法を理解し、基礎的な運用能力を身につけることを目的とする。	A + D併用
<関連科目>		フランス語ⅡB	△	△			001320	フランス語の初級文法を理解し、基礎的な運用能力を身につけることを目的とする。	A + D併用
<関連科目>		中国語ⅠA	△	△			001370	これから中国語の学習を進めていくための基礎を学ぶ。	A + D併用
<関連科目>		中国語ⅠB	△	△			001380	中国語の基礎的な語彙と文型の習得を目的とする。	A + D併用
<関連科目>		中国語ⅡA	△	△			001390	中国語のコミュニケーションで活用できる初級レベルの中国語の習得を目的とする。	A + D併用
<関連科目>		中国語ⅡB	△	△			001400	中国語のコミュニケーションで活用できる初級レベルの中国語の習得を目的とする。。	A + D併用
<関連科目>		韓国語ⅠA	△	△			001530	韓国語を用いた「読む」「書く」「聞く」「話す」など基礎的な技能と知識を習得する。	A + D併用
<関連科目>		韓国語ⅠB	△	△			001540	韓国語を用いたコミュニケーション能力を高めるための会話や文法の基礎的な機能と知識を身につける。	A + D併用
<関連科目>		韓国語ⅡA	△	△			001550	会話や文法などの技能と知識を向上させ、中級レベルの韓国語を用いたコミュニケーション能力の修得を目指す。	A + D併用
<関連科目>		韓国語ⅡB	△	△			001560	会話や文法などの技能と知識を一層向上させ、より円滑に運用できる韓国語を用いたコミュニケーション能力の修得を目指す。	A + D併用
<関連科目>		倫理とは何か	△				001630	西洋倫理学へとつながる学問的営みの歴史を通して、「倫理」について学ぶ。	AorB
<関連科目>		地域と風土	△				001800	自然環境と歴史的背景から地域の違いや特徴を理解することが到達目標である。	AorB
<関連科目>		現代社会と法Ⅰ（日本国憲法）	△				001850	法とは何か、憲法とは何かを一般的かつ包括的に理解するため、日本国憲法の基本的な内容を事例を交えて考察する。	A + D併用

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー											
DP1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている			◎ ○ △								
DP2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。											
DP3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。											
分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）		
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力	DP1	DP2	DP3					
<関連科目>		現代社会と法Ⅱ（国際法を含む）	△				001860	法的発想や法的表現に慣れ、国内法体系と国際法との関係について理解する。	A＋D併用		
<関連科目>		社会学 A	△				001890	社会学の考え方を中心に社会と個人・自分とのかかわりに気づき、社会貢献の意識を持てるようにすることを目的とする。	AorD併用		
<関連科目>		文化研究	△				004180	古代中国に始まる東洋の伝統文化である書道の実技を体験し、書の基本である楷法を習得する。	D その他（ルーブリック未使用）		
<関連科目>		人と文化	△				004250	文化人類学の視点で文化の多様性と普遍性について理解する。	B＋D		
<関連科目>		世界の中の日本	△				007320	国際文化についての基礎的な教養を学ぶこと、自国への知識を再検討し、新たな視点を持つことで他文化への理解を深めること、さらに歴史的思考を養うことを目的とする。	A＋D併用		
<関連科目>		地域と大学	△				007610	さまざまな文化施設の見学を通して、地域にとっての文化施設の意味を学び、それらへの関心を深めながら、課題を発見する力を身につけることを目的とする。	B＋D		
<関連科目>		女性とダイバーシティ(女性の働き方)	△				007650	目標 ・国際社会における「女性リーダー」「女性人材」像を自ら描くことができる ・女性/男性の多様性を理解することができる ・「女性の働き方」という課題が男女を問わず自らに関係すると説明することができる	D		
<関連科目>		近世の日本史Ⅰ	△				007750	幅広い教養を修得するための科目として、日本の近世史を通じて実証史学の手法を用いた実証的な分析により、論理的思考力を修得する。	B＋D		
<関連科目>		日本の文学Ⅰ	△				007770	文学作品を通して人権をめぐる諸問題への理解を深める科目である。	B＋D		
<関連科目>		心理学Ⅰ	△				007800	心理学を学習すると同時にグループ・ディスカッションやグループ・ワークを通して、自己理解、他者理解を深めることを目的とする。	A＋D併用		
<関連科目>		資格英語ⅠA	△		○		008230	社会に貢献するために必要なコミュニケーションの手段としての英語力を身に着けるため、・TOEIC® Listening and Reading Testでより高い得点を取るために必要となる基礎的なストラテジーを身に着け、ストラテジーを活用して、スコアアップを実現し、様々な場面で適用する英語力の修得を目指す。	A＋D併用		
<関連科目>		資格英語ⅠB	△		○		008240	社会に貢献するために必要なコミュニケーションの手段としての英語力を身に着けるため、・TOEIC® Listening and Reading Testでより高い得点を取るために必要となる基礎的なストラテジーを身に着け、ストラテジーを活用して、スコアアップを実現し、様々な場面で適用する英語力の修得を目指す。	A＋D併用		
<関連科目>		English CommunicationⅠA	△		○		000510	Purpose：The purpose of English Communication courses is to enable students to participate in English conversations from the fundamental basics of asking and answering basic questions relating to introductions,	A＋D併用		
<関連科目>		English CommunicationⅠB	△		○		000520	Purpose：The purpose of English Communication courses is to enable students to participate in English conversations from the fundamental basics of asking and answering basic questions relating to introductions,	A＋D併用		
<関連科目>		Oral EnglishⅠA	△		○		008110	〈目的・目標〉 ・コミュニケーションに必要な基礎的な英語力を向上させる。 ・特に英語でのListening及びSpeakingに関する技能を向上させる。	A＋D併用		
<関連科目>		Oral EnglishⅠB	△		○		008120	〈目的・目標〉 ・コミュニケーションに必要な基礎的な英語力を向上させる。 ・特に英語でのListening及びSpeakingに関する技能を向上させる。	A＋D併用		
<関連科目>		データサイエンス入門	△		△	△	008440	この講義の目的は、データサイエンスの基礎的素養およびこれから社会で生きて行く為の能力を身につける事である。	D その他（ルーブリック未使用）		
<関連科目>		応用AⅠプログラミング	△			△	010120	本講義の目的は、経済や経営における諸問題を解決するための実践的な機械学習・深層学習のプログラミング・スキル等を身につけて、問題解決を図ることである。	B		
<関連科目>		社会科学におけるデータサイエンス	△			△	010090	本講義の目的は、調査研究についての場合その背景に関する知識、プログラミング、統計手法について実際の事例を用い、内容を理解し、実践できるようにすること。	B＋D		
<関連科目>		ゲーム理論とAⅠ	△			△	010130	ゲーム理論は、行動主体が他の行動主体と関わりながら自分の利益を高めようと行動することによって社会に生じる結果を予想する学問で基礎的な考え方を身に着け、社会で生じる葛藤や利害対立に対して解決案を提示できるようになること。	B＋D		
<関連科目>		応用計量経済学	△			△	010110	政策評価をする上で必要なデータ分析手法の基礎を修得し、実経済の分析に応用することを目標とする。	B		
<関連科目>		金融データ分析	△			△	010100	本講義の目的は、金融・ファイナンスに関することを、身につけたスキルを用いてデータ分析し、そこから金融・ファイナンスに関するエビデンスに基づく知見を獲得すること。	B		
<関連科目>		海外研修Ⅰ	△		△		008530	海外研修に参加し異文化を体験することで、広い視野を身につけたり、自身の適性や新しい可能性を発見することが目的である。	D その他（ルーブリック未使用）		
<関連科目>		海外研修Ⅱ	△		△		008540	海外研修に参加し異文化を体験することで、広い視野を身につけたり、自身の適性や新しい可能性を発見することが目的である。	D その他（ルーブリック未使用）		
<関連科目>		海外研修Ⅲ	△		△		008550	海外研修に参加し異文化を体験することで、広い視野を身につけたり、自身の適性や新しい可能性を発見することが目的である。	D その他（ルーブリック未使用）		
<関連科目>		海外研修Ⅳ	△		△		008560	海外研修に参加し異文化を体験することで、広い視野を身につけたり、自身の適性や新しい可能性を発見することが目的である。	D その他（ルーブリック未使用）		
<関連科目>		ポーランド語A	△		△		007150	〈目的〉 ポーランド語の文法と会話に関する知識を修得し、ポーランド語での簡単なコミュニケーションスキルを身につけ、ポーランドに住む人々に関する知識を修得する	A＋D併用		
<関連科目>		ポーランド語B	△		△		007160	〈目的〉 ポーランド語の文法と会話に関する知識を修得し、ポーランド語での簡単なコミュニケーションスキルを身につけ、ポーランドに住む人々に関する知識を修得する	A＋D併用		
<関連科目>		スペイン語A	△		△		001490	〈目的〉 スペイン語の文法と会話に関する知識を修得し、スペイン語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける。	A＋D併用		
<関連科目>		スペイン語B	△		△		001500	〈目的〉 スペイン語について実際のコミュニケーションの状況、文化を通じて言語学習し、コミュニケーション能力を身に付ける。	A＋D併用		
<関連科目>		マレー語A	△		△		007670	マレー語について日常のフレーズやマレー語の音について構造に慣れておくこと。日々の活動を表現するのに便利な基本的な言葉の使い方を修得すること。およびマレーシア社会と文化について知り、理解できるようになること。	A		
<関連科目>		マレー語B	△		△		007680	マレー語について日常生活によく使われる表現を使い、簡単な日常会話ができること。基本文法の使い方を説明できること。マレーシアの社会と文化、およびマレーシア人の暮らし方、考え方について述べることができる。	A＋D併用		
<関連科目>		留学英語A	△		○		008490	〈目的〉 留学生活に必要な英語での基礎的なコミュニケーション能力を身につける。 英語サイトを活用して有用な情報を集める力を身につける。留学準備を通して、考える力・判断する力を身につける。	A＋D併用		

2026年度 カリキュラム・マップ 【薬学部薬学科】

ディプロマ・ポリシー									
DP 1： 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている					◎ ○ △				
DP 2： 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。									
DP 3： 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。									
分野系列	主要授業科目	科目名	科目に関連づくディプロマ・ポリシー			2021ナンバリング	科目コード	科目の目的・目標	アセスメント方法 A：記述・客観的試験 B：レポート試験 C：その他（ルーブリック使用） D：その他（ルーブリック未使用）
			◎：最もよく身に付けることができる能力 ○：よく身に付けることができる能力 △：身に付けることができる能力	DP1	DP2	DP 3			
<関連科目>		留学英語B	△	○			008500	〈目的〉 留学生活に必要な英語での基礎的なコミュニケーション能力を身につける。 英語サイトを活用して有用かつ最新の情報を集める力を身につける。 留学準備を通して、考える力・判断する力を身につける。	A + D併用
<関連科目>		健康スポーツⅠA	△				008570	多種多様なスポーツを通じて、生涯に渡り健康・体力づくりを実践する能力を身に付け、仲間とのコミュニケーションスキルを養い、スポーツに対する科学的な知見を深めることを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<関連科目>		健康スポーツⅠB	△				008580	多種多様なスポーツを通じて、生涯に渡り健康・体力づくりを実践する能力を身に付け、仲間とのコミュニケーションスキルを養い、スポーツに対する科学的な知見を深めることを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<関連科目>		健康スポーツⅡA	△				008590	多種多様なスポーツを通じて、生涯に渡り健康・体力づくりを実践する能力を身に付け、仲間とのコミュニケーションスキルを養い、スポーツに対する科学的な知見を深めることを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<関連科目>		健康スポーツⅡB	△				008600	多種多様なスポーツを通じて、生涯に渡り健康・体力づくりを実践する能力を身に付け、仲間とのコミュニケーションスキルを養い、スポーツに対する科学的な知見を深めることを目的とする。	D その他（ルーブリック未使用）
<関連科目>		データ・リサーチリテラシー論	△		△		003700	〈授業の目的〉 1. アンケート回答を正確に数値化するための作成方法を身につけ、注意すべきバイアスやワーディングについても理解を深めます。これとともに、Microsoft Formsを用いたアンケート構築と配布についても学びます。 2. 平均や分散などの記述統計量の算出方法、度数分布表やグラフの作成方法について学びます。	B + D
<関連科目>		スポーツ医学		△	○		008430	運動時の身体機能、運動障害とその予防および救急処置法、またスポーツに関係する薬や栄養の知識について学び、その知識と実践力を養うことを目的とします。	B + D
<関連科目>		基礎化学計算	△		○		003710	目的：通分数、指数関数、対数関数、微分・積分の薬学での利用法を知り、各種計算方法を習得します。化学物質の基礎的事項を理解するとともに、薬学に関連した数学の考え方を見につけ、計算を用いて化学物質、反応の変化を予測することができるようになります。	B + D
<関連科目>		基礎物理学	△		○	PHP011JY	003720	〈授業の目的〉 基礎物理学では、薬学を学ぶ上で必要な物理的思考能力を養うために、物体の運動、エネルギー、熱力学、波動、静電力学に関する基本的な概念を学びます。	B + D
<関連科目>		自校史研究（建学の精神と大学の理念）	△				000300	本学の建学の精神と理念にもとづいて問題の核心を発見し、その解決策へ討論を行う。	B
<関連科目>		国際グローバル研修	△	△			007220	本学独自の海外研修プログラムを通じて、現地で体験、経験したものを成果として認定する科目である。	D
<関連科目>		グローバル社会と女性	△				007640	グローバルゼーションの影響や新自由主義の考え方について理解することを目的とする。	B + D
<関連科目>		女性とキャリアデザイン(女性と企業)	△				007660	女性学の観点から女性のキャリア形成を阻害する要因を可視化させ、実際に行われている格差解消のための取り組みやロールモデルの人生／半生から、具体的な問題解決方法や働き方についての理解し、多様性を大切にすることの意味に気づき、女性の働き方という問題が自分自身に直接関係する問題であるとの認識を深めることを目的とする。	B + D
<関連科目>		データサイエンスと数理統計	△		△		008450	データ分析のための数学理論である確率・統計や多変量解析について学習する。数理統計手法によるデータ分析ができるようになる事を目的とする。	B
<関連科目>		機械学習とAI	△		△		008460	機械学習でよく用いられるプログラミング言語Pythonを使って機械学習を実装する事を目標とする。	B
<関連科目>		データサイエンス特別講義Ⅰ	△		△		008470	データサイエンスに関する主要なトピックについて解説、実装し、様々な分野＆社会へのデータサイエンスの実装に触れる事で今後の学修への指針を見つけることが目標である。	B
<関連科目>		データサイエンス特別講義Ⅱ	△		△		008480	データサイエンスに関する主要なトピックについて解説、実装し、様々な分野＆社会へのデータサイエンスの実装に触れる事で今後の学修への指針を見つけることが目標である。	B
<関連科目>		ハンガリー語A	△	△			001510	ハンガリー語の初級レベルの文法を習得し基本的な会話（自己紹介、お店でのやりとり）ができる。また、ハンガリーの文化や歴史について簡単に説明できる	A + D併用
<関連科目>		ハンガリー語B	△	△			001520	ハンガリー語の初級レベルの文法をすべて習得し、基本的な会話（自分や家族について説明や、過去形を使って出来事を話せる）ができる。また、ハンガリーの文化や歴史について簡単に説明できる	A + D併用
<関連科目>		スタートアップ企業論入門	△				013000	会社の設立登記や企業に必要な実務の概要を理解できるようになることを目的とする。	A + D併用
<関連科目>		生涯スポーツ論	△				002660	生涯にわたる多様なスポーツへのあり方を再考し、生涯にわたリスポーツに親しむ主体的な能力を身に付けていくことを目的とする。	A + B
<関連科目>		教養英語A	△	○				イギリス文学を通して英語と異文化を学び、翻訳をとおして日本語力を向上させ、多角的な視点を持つことができるようになることを目的とする。	
<関連科目>		教養英語B	△	○				イギリス文学を通して英語と異文化を学び、翻訳をとおして日本語力を向上させ、多角的な視点を持つことができるようになることを目的とする。	
<関連科目>		世界の文学	△	△				ある国の歴史や文化と深い関係を持つ作家の作品を読み解くことによって、他国の歴史や文化に対する洞察力を高めることを目的とする	
<関連科目>		デザイン思考で取り組む地域課題	△	△				日本や世界の諸問題をローカルかつグローバルに考える姿勢を涵養することを目的とする。	
<関連科目>		数学とは何だろうか	△					多様なバックグラウンドを持った学生が学際的に社会事象に向き合うことで、協働力を養うこと、それぞれの専門分野における研究の可能性を広げることが目的とする。	
<関連科目>		統計学で見る世界	△					数学の歴史、特にそれまでの価値観を覆すような仕事を成し遂げた数学者たちについて学び、価値観がどのように変わったのかを体験的に学ぶことで、数学とはどのような営みなのかについて考え、数学的思考の態度を身につけることを目的とする。	
<関連科目>		統計学で見る世界	△					統計学による世界の見方を理解して、現代に溢れるデータに対して正しい解釈を行い、状況を判断する科学的思考力を養うことを目的とする。	
<関連科目>		コンピュータとプログラミングの世界	△					プログラミングに実践的に触れながらその仕組みを理解し、アルゴリズムの考え方を身につけること、プログラミングがどのように使われているかを理解することで実現可能性の観点から社会を捉える批判的思考を身につけ、簡単なプログラミング創作が出来るようになることを目的とする。	
<自由科目>		医薬品情報・マネジメント概論A	△		△	PHP263JY	003840	主に保険薬局、ドラッグストア、製薬会社、臨床検査会社、公衆衛生実施会社等の現状と今後の展開を学び、医療人として社会人としてあるべき姿を修得することを目的とする。	B + C or D併用
<自由科目>		医薬品情報・マネジメント概論B	△		△	PHP263JY	003850	薬を中心に医療を見るのではなく、患者さんを中心にどのような形が望ましいのか等を考え、幅広い視点で医療を考えることが出来る社会人能力の醸成を目標とする。	B + C or D併用